

食育通信

大分市立碩田学園

平成30年1月23日(火) No.8

毎回のキーワード

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間

毎年、1月24日から30日までは、「全国学校給食週間」です。学校給食は明治22年、山形県のお寺で、お弁当を持ってこられない子どもたちのために、おにぎりとおかずを出したのが始まりと言われています。

その後、戦争で給食は一時中断しました。しかし戦後食べ物がない日本の子どもたちのために、昭和21年、外国からミルクや小麦粉などが送られ、給食が再開されました。(大分市でも昭和21年12月から)これを記念したのが「全国学校給食週間」です。



いま給食は児童生徒の栄養を満たす目的から、健康や食事のマナー、流通や地域の産物などを学ぶ時間の一つとなっています。

同じものを友達と教室で食べることで、家庭では出ない食材や献立などを体験し、今まで食べることがなかったものを、給食を通して食べることができたという話も聞きます。しかし、給食は年間を通した食事のたった6分の1です。食事の基本は家庭です。

学校給食ポスター

大分市学校給食ポスター展に出品していただきありがとうございました。全校で50点の応募があり、内12点が先日ホルトホールで展示されました。どの作品も「感謝」や「マナー」を呼びかける内容でした。

ポスターは碩田学園アトリウムでも来週から2月中旬まで展示します。学校にお越しの際にはぜひご覧ください。

必勝 受験に勝つためには、
まずしっかり食べること!



《今月のメモ》 栄養教諭 時松玲子

今年もインフルエンザが流行りだしました。気を付けていてもウイルスは見えません。いつの間にか体に侵入してしまうようです。腸内環境を良くすればかかりにくい?とも言われますが...今年もよろしくお祈りします。